

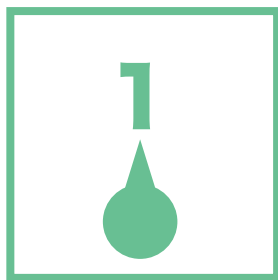
GUITAR WIZARD

BASIC

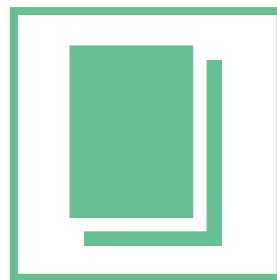
音の呼び方



B A S I C



C H A N N E L 1



A R C H I V E



E L E C T R I C



A C O U S T I C



D O W N L O A D

音の呼び方

1 はじめに

2 音名と階名

3 音名

4 階名

5 まとめ

解 説

(1) 音の呼び方を学んでいきます。

(2) 音名と階名の違いを学びます。

習 得 内 容

☒ 音名

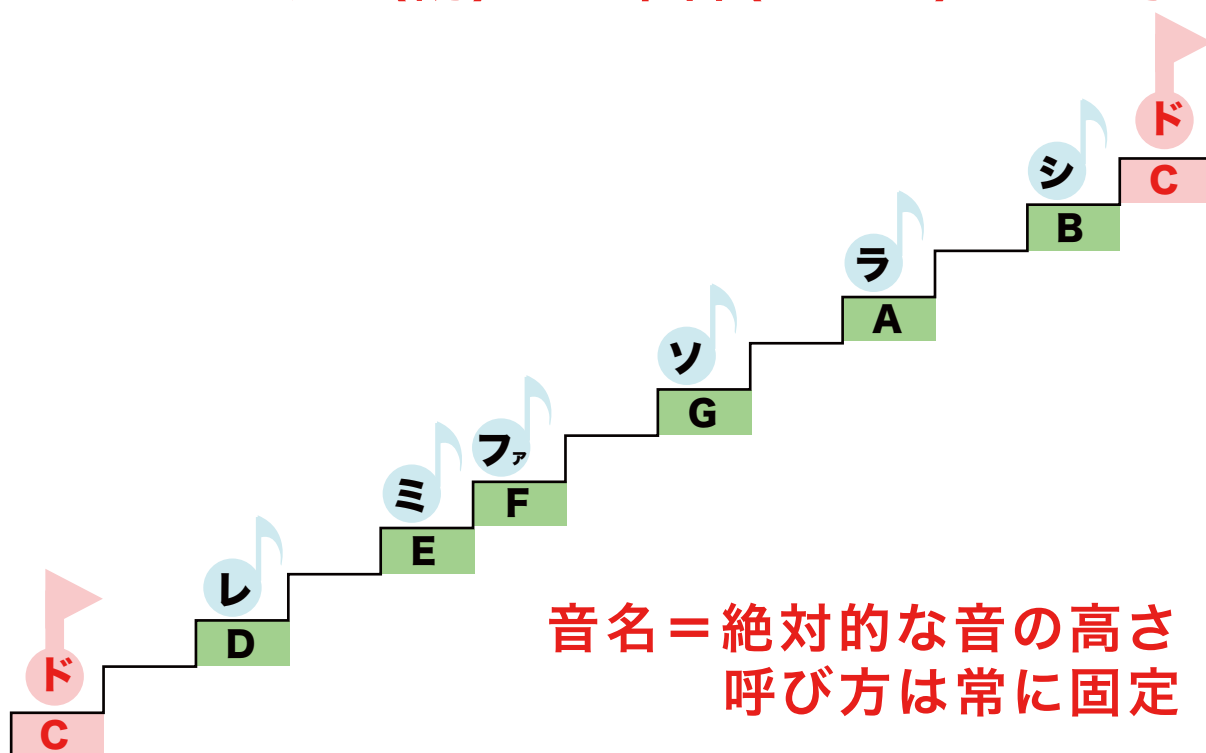
☒ 階名

解説

- (1) 音の呼び方には、「**音名**」と「**階名**」の2種類があります。
- (2) 普段よく使う「ドレミファソラシド」は、音名と階名、両方を混同して使っていることが多いので、区別していきましょう。
- (3) **音名**とは、「**絶対的な音の高さ**」を表すもの。
階名とは、「**相対的な音の高さ**」を表すもの。

図

階名＝相対的な音の高さ
そのキー(調)の基準音(ルート)をドと呼ぶ



解説

(1) 音名は、絶対的な音の高さを表す表現として使われます。

(2) 一般的にポピュラー音楽では、「英米式」を使用します。

ド	=	C
レ	=	D
ミ	=	E
ファ	=	F
ソ	=	G
ラ	=	A
シ	=	B

図

音名は英米式を使用

	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
英米式	C	D	E	F	G	A	B
イタリア式	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
日本式	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ
ドイツ式	C	D	E	F	G	A	H

解 説

- (1) 階名は、その曲のキーの中での機能を表す表現として使われます。
- (2) 移動ドとも呼ばれます。
- (3) 一般的にポピュラー音楽では、「イタリア式」を使用します。
- (4) 歌いやすいのがメリットです。

そのキー(調)の	1 番目の音	=	ド
	2 番目の音	=	レ
	3 番目の音	=	ミ
	4 番目の音	=	ファ
	5 番目の音	=	ソ
	6 番目の音	=	ラ
	7 番目の音	=	シ

図 - 1

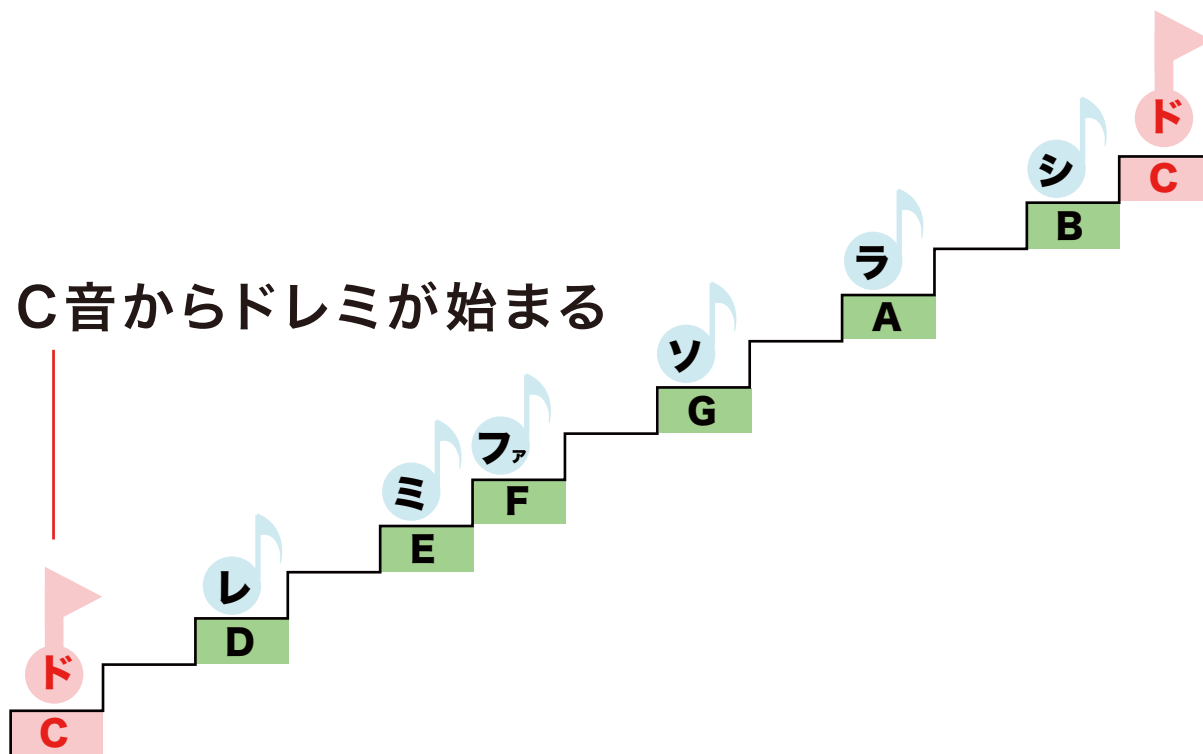
階名はイタリア式を使用

	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
英米式	C	D	E	F	G	A	B
イタリア式	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
日本式	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ
ドイツ式	C	D	E	F	G	A	H

図 - 2

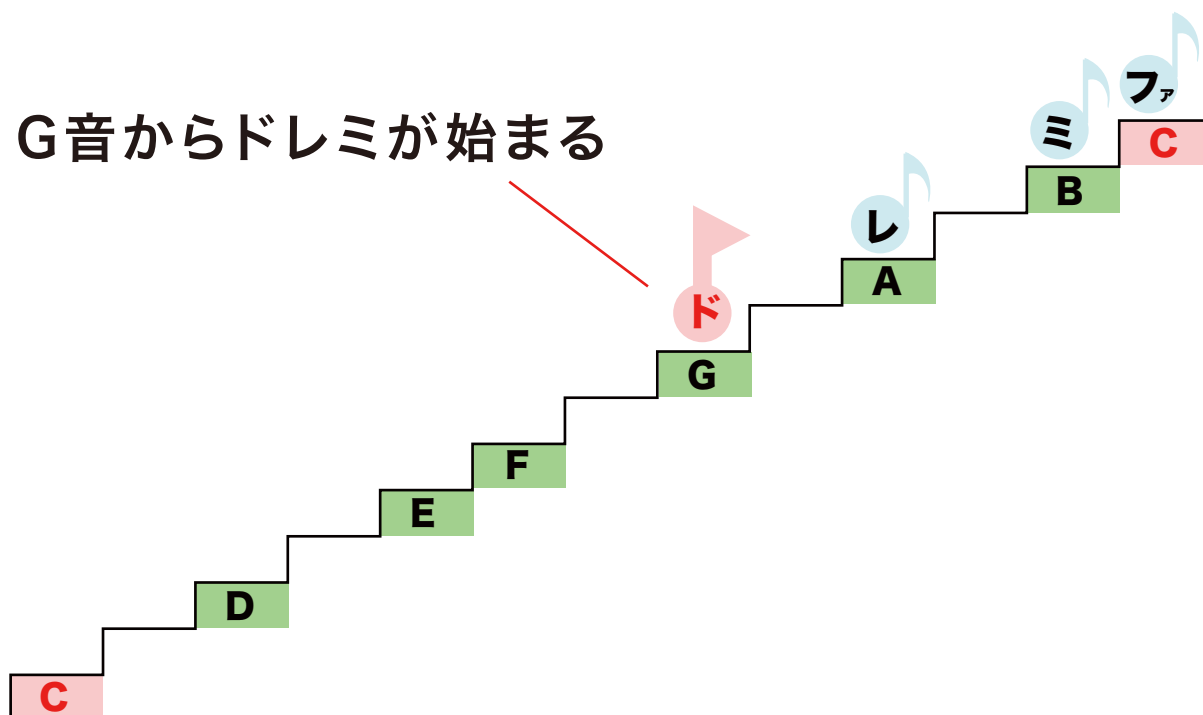
例 1 : キー (調) が C の場合

C音からドレミが始まる



例 2 : キー (調) が G の場合

G音からドレミが始まる



音名

絶対的な音の高さ
呼び方は常に固定

ド	=	C
レ	=	D
ミ	=	E
ファ	=	F
ソ	=	G
ラ	=	A
シ	=	B

階名

相対的な音の高さ
そのキー(調)の基準音(ルート)をドと呼ぶ

そのキー(調)の	1番目の音	=	ド
	2番目の音	=	レ
	3番目の音	=	ミ
	4番目の音	=	ファ
	5番目の音	=	ソ
	6番目の音	=	ラ
	7番目の音	=	シ